



総合学習の一環で田植えを体験した甲佐小5年の児童たち（西寒野）

うたごよみ 文庫

【短歌】

渡辺幸士 選

連日の悲惨な事故に涙する平穏な日々に戻るのはいつ
緒方 明美

擦り切れた野良着懐かし健やかな日々の暮らしの亡夫の体臭
塚原 暁益

六人の姉妹揃って北の旅今は懐かし想い出となる
池田キヨ子

目に青葉小鳥囀る散歩道風も爽やか気分爽快
赤星 文子

久しぶり阿蘇の原野をバスで行く地震の後の悲惨さ見つつ
白梅 武人

いくつかの心残りを呟きて亡夫は旅立つ吾を残して
吉永由紀子

先生に守られながら登校の黄色い帽子の元気な児童ら
内田乃武子

母の日に離れ住んでる孫息子茶飲みカップを吾に贈れり
上村やす美

成すことも無く初夏のちぎれ雲見ており明日もかく過ごすかも
渡辺 幸士

【川柳】

渡辺幸士 選

【つながる】

つながりは年に一度の年賀状
林 雅之

【学校】

学校は大好き勉強は嫌い
清川みどり

料理学校いい奥様になるつもり
川村 文子

春の陽が一番似合う新入児
渡辺 幸士

【肥後狂句】

北川直美 選

えらかね 升席にイス持ち込もうだ
広田みどり

えらかね 駆け足で掛け持ちバイト
下山 千恵

えらかね 二十歳で会社起こさした
志垣 光

えらかね 我が家の修理後まわし
佐藤 葵

えらかね 子供が親に教えよる
平井やよい

えらかね 爺ちゃん越して警視かい
長原 産賀

えらかね 酒も女子もやめらした
佐野 京

えらかね 一人お泊りようでけた
光永 六

えらかね 嘘つくまでにのぼり詰め
井元あざみ

えらかね 感謝の言葉書き残し
日高 美里

えらかね たった四つでお留守番
上田 梅清

えらかね 彼の世のバスもチャージ済み
日隈 元良

えらかね 煽おだてて誉めて育てなん
北川 直美

お問い合わせ先 町教育委員会公民館事務局
☎096・234・2447（内線321）

ひとの動き (敬称略)

5月11日(土)～6月10日(月)

birth お誕生おめでとう

住所	氏名	性別	保護者
仁田子	田上 柁季	男	龍 真
糸田	本田 七星	男	和 明
津志田	高岡 楓菜	女	清 和
白旗	山下 夏來	女	祐 二
船津	井元 奏	女	康 平
下横田	小島 悠仁	男	秀 平
中横田	吉浦 翔音	女	一 成
津志田	一圓 瑞	女	仁

marriage ご結婚おめでとう

	住所	氏名
夫	沖繩県	齊藤 大輔
妻	府 領	鶴山 優子
夫	仁田子	井芹 偉
妻	宇城市	増田 瑞穂
夫	嘉島町	吉田 一真
妻	早 川	西口明日香

condolence お悔やみ申し上げます

住所	氏名	年齢	世帯主
有 安	本田長久子	91	長久子
有 安	本田 信子	98	敬 和
小 鹿	園田トシコ	97	裕二郎
豊 内	甲斐 昭子	92	昭 子
芝 原	河野 武憲	92	史 郎
西寒野	岩井ツヨ子	81	ツヨ子
田 口	宮本ムツエ	96	ムツエ

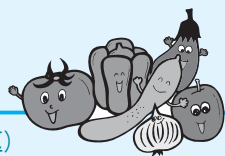
data 甲佐町の人口・世帯数

項目	数	増減
男	5,027	△10
女	5,582	△1
計	10,609	△11
世帯数	4,283	0

令和元年5月31日現在

こうさの野菜で作ってみよう!

レシピ提供：料理研究家 沼田峰子さん (北原区)



ズッキーニの重ね焼き

ご存知ですか？

濃いみどり色で細長いズッキーニ。見た目はまるでキュウリのようなのですが、実はカボチャの仲間だっただご存じですか？

スープの具にしたりトマトやナスと煮込んだり、韓国料理にも欠かせない野菜です。

ズッキーニはカリウムを多く含んでいるため体の中から余分な塩分を排出し、血圧の上昇を抑えてくれます。

また、ビタミンCも多く含まれており、風邪の予防や疲労の回復、肌荒れ防止などに大きな効果があるそうです。また、むくみの解消に役立ってくれますし、アンチエイジングでも大活躍です。

上手に取り入れて、健康に過ごしましょう。



作り方

- ①ジャガイモを良く洗い、皮を剥かず1個ずつラップで包みレンジで1個につき1分30秒程加熱します。
- ②①のジャガイモを熱いうちに皮を剥いて7～8mm幅に切る。
- ③ズッキーニはジャガイモと同じ厚さに揃えましょう。
- ④ベーコンを3mm幅に切る。
- ⑤グラタン皿(2枚重ねのアルミホイルで代用可)に薄くサラダ油を敷き、ズッキーニ・ベーコン・ジャガイモ・ベーコン・ズッキーニと交互に重ねていきます。
- ⑥最後に全体に軽く塩コショウを振り、チーズをまんべんなく散らしたら、焦げを防ぐためにアルミホイルを1枚かぶせてオーブントースターで10分程焼いて出来上がりです。

材 料 (4人分)

ズッキーニ	2本
ジャガイモ	2個
ベーコン	4枚
ピザ用チーズ	100g ²⁾
塩コショウ	少々

町内各地で田植えが始まり、多くの田が水をたたえる風景を目にするようになりました。大量の水を必要とするコメづくりにとって、梅雨前線がもたらす降雨は恵みの雨。今年は熊本地方を含む九州北部の梅雨入りが遅れ、一足先に夏がやってきてしまったかのようです。

そんな夏のはじまりを感じさせる6月下旬、甲佐小学校の児童たちが田植え体験に臨むというので、西寒野区の井上良治さんの水田に向かいました。

参加した31人の児童たちは、井上さんと地元農家、JA青壮年部の若手農家の指導の下、丁寧に植え付けを行いました。ぎこちない手つきだった児童たちも終わるころにはすっかり慣れた様子。今回植えたもち米は秋に収穫を行い、学校での餅つきに活用すること。実りの秋が楽しみですね。

(ト)

編集後記